

○「ピアサポート」を通じた学生参画

ピアサポートは、必ずしも大学の重要事項の決定や質保証において学生が意見を述べるということを想定したものではありませんが、学生が他の学生の学修活動を支援し、全体として学習経験の向上をはかるという点で、大学教育の改善・向上に重要な役割を果たします。

成城大学 | ピアサポート活動

大学レベル × ピアサポート

ポイント

- ・学生が中心となって活動の企画・運営を行っている。その一方で、大学から組織的なサポートが提供されている。
- ・ピアソーターに支援された学生が支援する側に回る好循環が生まれている。
- ・活動には大学執行部も積極的に関与している。

▶ 取り組みの内容

- ・成城大学のピアサポート活動は、学生が中心となって学習活動を支援する取り組みであり、2017 年度に開始されました。国の支援事業への採択を目指していたものの不採択となりましたが、構想を実現しようという機運が高まり、実施に至りました。
- ・組織は、幹部会・リーダー会を含む階層構造を持ち、サポート推進部、広報部、ルーム管理部などの部署があります。約 100 名の学生がピアソーターに登録し、いずれかの部に所属しています。
- ・学生の役割は、活動運営および各プロジェクトの企画・運営です。主な活動は、新入生の時間割選択を支援する「時間割相談会」(2025 年度は 700 名以上の利用)や「入学準備プログラム」です。報酬は原則発生しませんが、授業でファシリテーターとして関わる場合は有償となります。
- ・学生が主体的に活動を運営していますが、解決困難なトラブルは職員が相談に対応しています。ピアソーターが活動するためのピアサポートルームが用意されており、職員は訪問を通じて、活動しやすい雰囲気作りに努めています。
- ・活動頻度は高いですが、教職員のサポートや活動内容の調整により、学生は学業や他クラブ活動との両立が可能になっています。
- ・学生が学長に活動の報告を行い、意見交換をする機会があるなど、執行部も積極的に関与しています。

▶ 担当部署

- ・教育イノベーションセンター、教務部および図書館

▶ 学生の選抜方法

学生の選抜は行っておらず、広く学生から参加を募っています。募集要項は、ウェブページでも公表されています。ピアソーターの学生は、研修に参加し、傾聴力や心構えを学ぶことを求められます。

▶ 取り組みの成果

- ・学生は活動を通じて、多様な人々との交流、傾聴力、自発性、コミュニケーション能力、問題解決能力の向上を実感し、企画・運営の楽しさも得ています。人前に出るのが苦手だった学生が人前で話せるようになるなど、著しい成長が見られます。
- ・大学にとっての成果は、学生同士が対等な関係で支え合う文化が醸成されたことです。学生が単なる顧客ではなく、大学と共に作り上げていく雰囲気が醸成されたことも成果であり、「児童本位」という成城学園創設の思想を体現しています。
- ・成功の秘訣は、学生が活動を「エンジョイしている」とこと、支援された側の学生が支援する側に回る「好循環が生まれている」ことにあります。
- ・今後の課題は、学生の在任期間が限られるために、円滑な引き継ぎが容易ではないことへの対処です。くわえて、学生からは大学の課題が見えにくいため、大学からの視点提示が必要という意見も出ています。外部評価委員会への学生参画等も検討されています。



(～中略～)

学生代表に求められる資質

学生参画に取り組む学生代表には、その役割に応じて、さまざまな資質が求められます。あらかじめ身についておいてほしい意識や姿勢もあれば、活動に参加する中で習得していくスキルもあります。また、学生が安心して役割を果たせるよう、大学が研修やサポート体制を整えることも大切です。

学生参画の目的は大学によって異なりますので、学生代表に求められる資質や、大学として提供すべき支援の内容も多様になります。各大学が、それぞれの学生参画の目的を明確にしたうえで、それに合った資質やサポートを考えることが求められます。

○国内の事例

成城大学では、ピアサポートに携わる学生(センター)を広く募集し、多くの学生にピアサポートに関わる門戸を広げています。そのため、特に、学習支援に携わるピアセンターには、学生相互の学習支援に役立つ資質、能力・スキルを身につけられるよう、加入後に一定の研修の受講を義務付けています。その後、各種サポート活動を通じて、身につけた能力等を伸ばしています。サポート活動は、教職学協働で実施されるため、大学は、センターの意見を「学生の視点」として重視しています。

POINT

- ・参加学生を選定せずに、ピアセンターを務める学生を広く募集している
- ・ピアサポートに加入後、研修の受講を義務付けている
- ・各種のサポート活動を通じて、身につけた能力等の伸長(成長)を意図している

(～後略～)